

# 2022年8月期 第2四半期 決算説明会

---

2022年4月18日

株式会社 **ビックカメラ**  
東証プライム：3048

株式会社 **コジマ**  
東証プライム：7513



# 2022年8月期 第2四半期 決算説明会

1. **コジマ**

2. **ビックカメラ**



株式会社 **ゴジマ**

( 東証プライム : **7513** )

## パーパス

家電を通じて 笑顔あふれる  
明るく暖かいみらいをつくる  
くらし応援企業であること

---

中澤 裕二  
代表取締役社長

# 第2四半期 決算概要

単位:百万円, %	2021年8月期 上期		2022年8月期 上期				
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	公表予想	公表予想差
<b>売上高</b>	<b>147,934</b>	-	<b>138,516</b>	-	<b>93.6</b>	<b>131,400</b>	<b>7,116</b>
売上総利益	42,271	28.6	37,540	27.1	88.8	26.7%	
販売費及び一般管理費	37,156	25.1	32,781	23.7	88.2	25.4%	
人件費	10,814	7.3	11,326	8.2	104.7		
運送費(物流費)	6,214	4.2	5,875	4.2	94.5		
地代家賃	4,252	2.9	4,306	3.1	101.3		
減価償却費	736	0.5	674	0.5	91.7		
その他	15,139	10.2	10,598	7.7	70.0		
<b>営業利益</b>	<b>5,114</b>	<b>3.5</b>	<b>4,759</b>	<b>3.4</b>	<b>93.0</b>	<b>1,700</b>	<b>3,059</b>
営業外収益	194	0.1	319	0.2	164.0		
営業外費用	88	0.1	101	0.1	114.8		
<b>経常利益</b>	<b>5,221</b>	<b>3.5</b>	<b>4,976</b>	<b>3.6</b>	<b>95.3</b>	<b>1,700</b>	<b>3,276</b>
特別利益	0	0.0	226	0.2	-		
特別損失	52	0.0	189	0.1	549.2		
税金等調整前四半期純利益	5,169	3.5	5,013	3.6	96.7		
法人税、住民税及び事業税	592	0.4	447	0.3	75.6		
法人税等調整額	1,063	0.7	1,164	0.8	109.5		
<b>四半期純利益</b>	<b>3,513</b>	<b>2.4</b>	<b>3,401</b>	<b>2.5</b>	<b>96.3</b>	<b>1,100</b>	<b>2,301</b>

注) 2022年8月期 期首より、収益認識会計基準を適用しております。

# 収益認識会計基準の影響

## 旧会計基準 前年同期比較

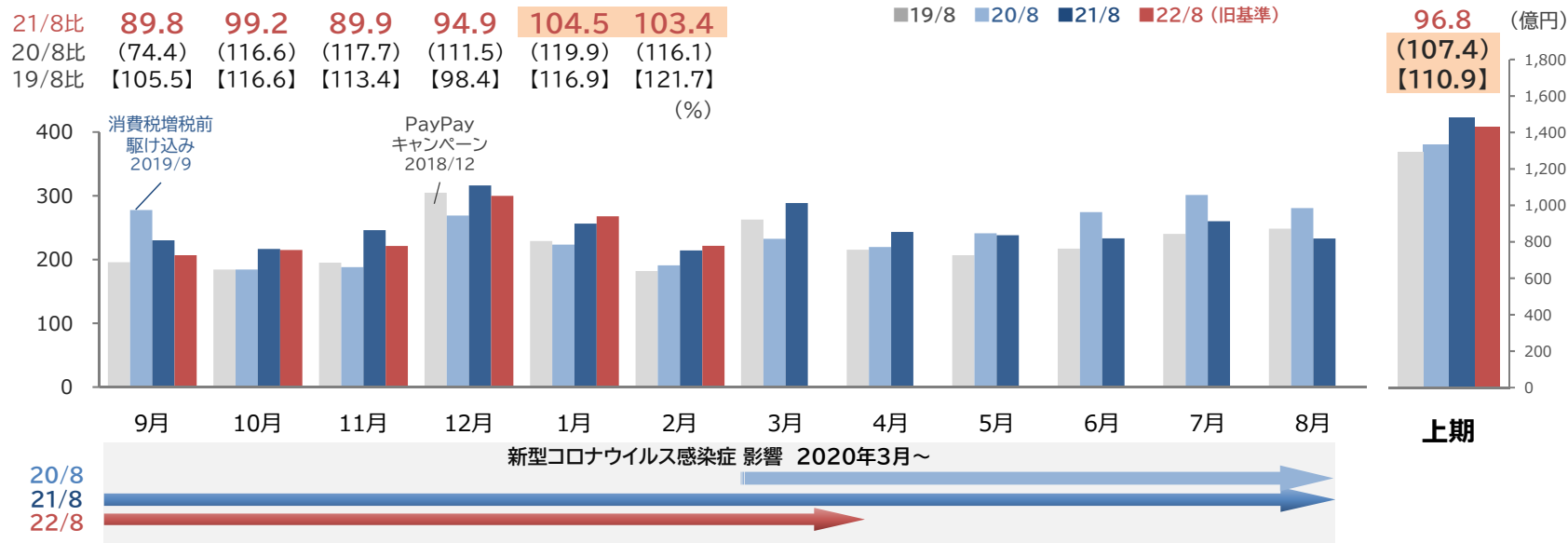
単位:百万円, %	2021年8月期 上期	2022年8月期 上期	前同比	前同差
	実績(旧基準)	実績(旧基準)		
売上高	147,934	143,187	96.8	△4,747
売上原価	105,663	101,609	96.2	△4,053
売上総利益	42,271	41,578	98.4	△693
売上総利益率	28.6%	29.0%		
販管費	37,156	36,907	99.3	△249
営業利益	5,114	4,671	91.3	△443

## 影響額

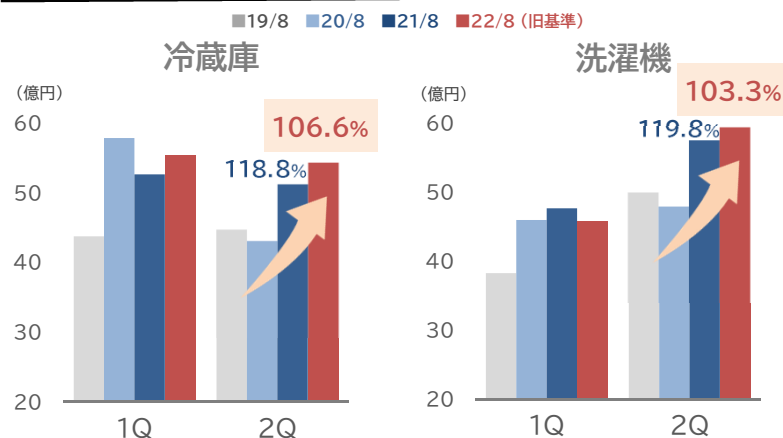
単位:百万円	2022年8月期 上期		影響額
	実績(旧基準)	実績(新基準)	
売上高	143,187	138,516	△4,670
売上原価	101,609	100,976	△633
売上総利益	41,578	37,540	△4,037
売上総利益率	29.0%	27.1%	
販管費	36,907	32,781	△4,125
営業利益	4,671	4,759	87

# 【コジマ】売上高

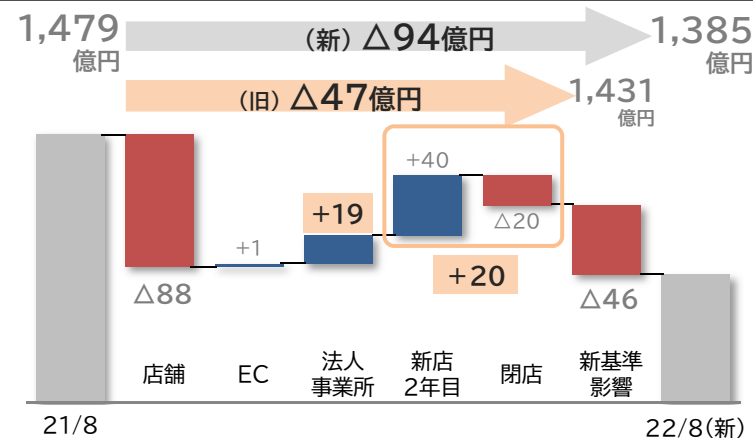
## 月別推移 旧会計基準



## 商品カテゴリ別 POSベース



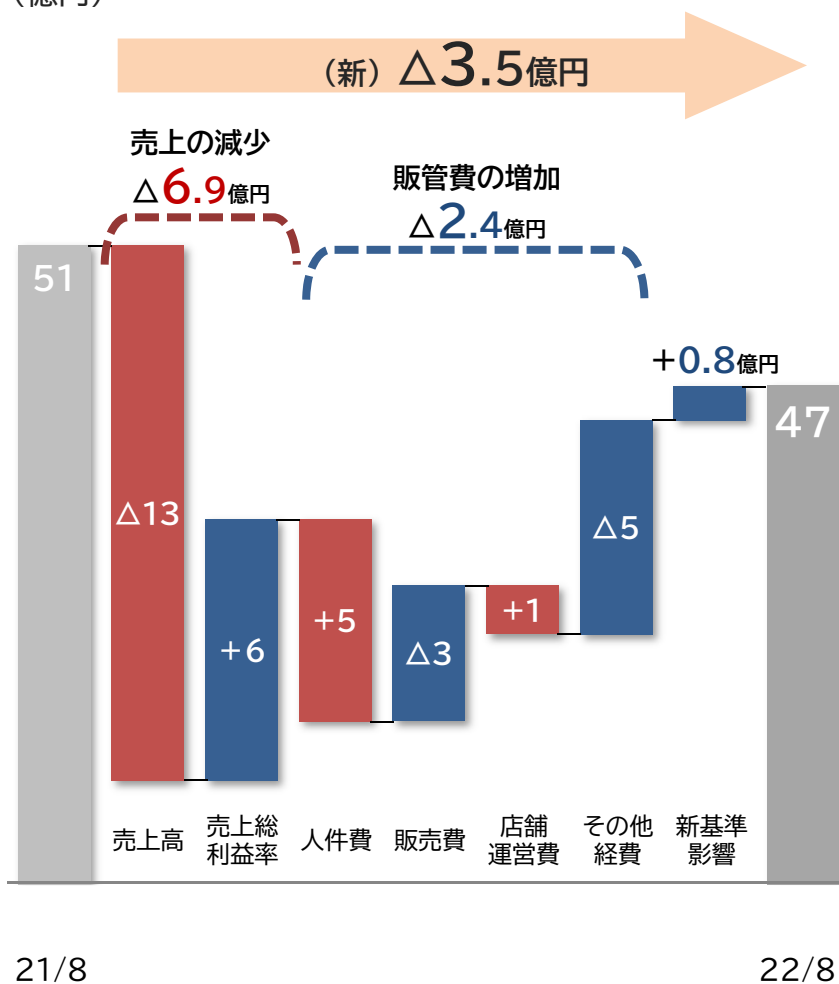
## チャンネル別 増減要因



# 【コジマ】 営業利益

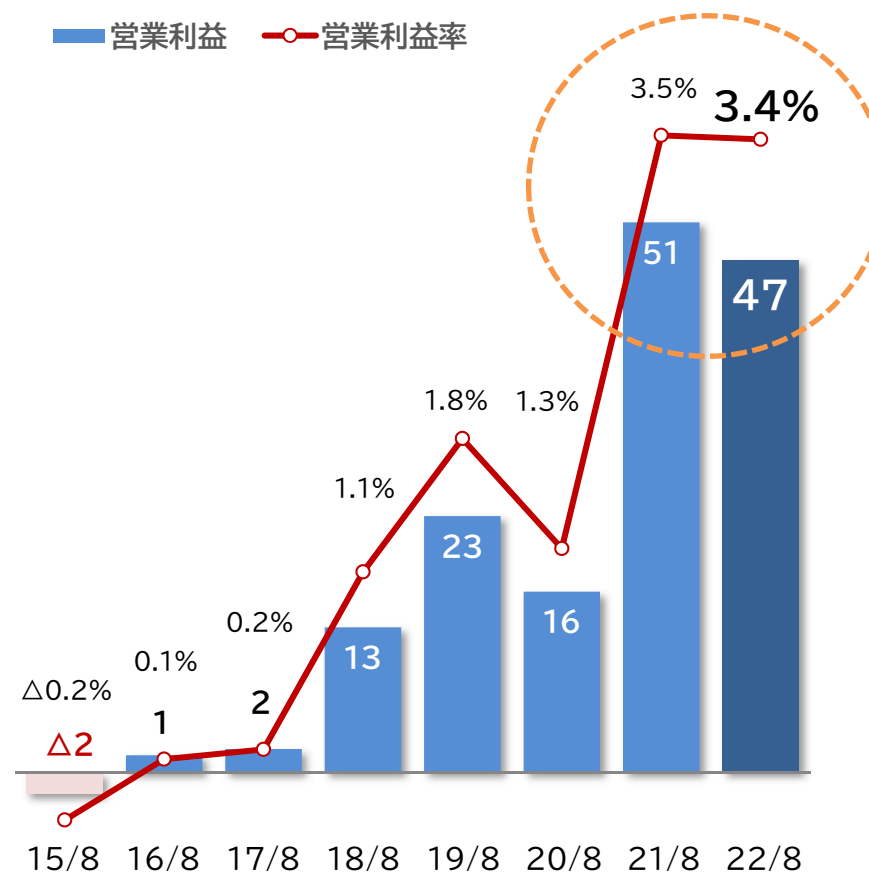
## 増減要因 前期差

(億円)



## 営業利益推移 上期

(億円)



# 【コジマ】下期の取り組み

## 集客力の強化

### ◆地域密着イベントの開催

・地元企業様や地方自治体と連携したイベントの開催

・野菜や果物を店頭で販売する「コジマの朝市」やお得なギフト商品を集めた「大特価市」などご来店のきっかけとなるイベントを強化



## 魅力ある店舗づくり

### ◆生活スタイルの変化に合わせた提案

・新たな商品カテゴリーの導入

・使用や所有で感じられる「喜びや満足感」がより伝わるご提案や売り場を展開



## リアル店舗との融合

### ◆ネットで取り置きサービス

・「コジマネット」ご利用のお客様を店舗へ誘因

上期 96店舗

4月 +20店舗

⇒ 現在 **116**店舗 順次店舗数を拡大

### ネット取り置きサービス

始めました!



パソコン・スマホで商品をKEEP!



## 住設事業の強化

### ◆太陽光発電・蓄電池の販売推進

環境に配慮した商品の提案

①自宅で発電した電気を 卒FITに伴い  
「売る」⇒「蓄電して使う」



②停電・非常時対策として、  
急な災害時の停電でも  
電化製品の使用が可能



⇒ 住設部門の  
専任販売者を  
**50**名配置  
売場拡大、研修実施







# 2022年8月期 業績予想

単位：百万円，%	通期					下期					
	21年8月期	22年8月期	22年8月期			21年8月期	22年8月期	22年8月期			
	実績	期初予想	修正予想	前期比	期初予想比	実績	期初予想	修正予想	前同比	期初予想比	
売上高	297,535	271,400	280,700	94.3	103.4	149,600	140,000	142,183	95.0	101.6	
営業利益	8,861	5,000	8,300	93.7	166.0	3,746	3,300	3,540	94.5	107.3	
経常利益	9,244	5,000	8,500	91.9	170.0	4,023	3,300	3,523	87.6	106.8	
当期純利益	6,302	3,200	5,900	93.6	184.4	2,788	2,100	2,498	89.6	119.0	
売上比	売上総利益	28.8	26.9	27.4		+0.5	29.1	27.2	27.7		
	販管費	25.8	25.1	24.4		△0.7	26.6	24.8	25.2		
	営業利益	3.0	1.8	3.0			2.5	2.4	2.5		
	経常利益	3.1	1.8	3.0			2.7	2.4	2.5		
	当期純利益	2.1	1.2	2.1			1.9	1.5	1.8		



株式会社 **ビッグカメラ**  
( 東証プライム:3048 )

パーパス

お客様の購買代理人として  
暮らしにお役に立つ暮らし応援企業であること

---

木村 一義  
代表取締役社長

**1. 2022年8月期 第2四半期業績**

**2. 2022年8月期 業績予想**

**3. 重要経営課題(マテリアリティ)**

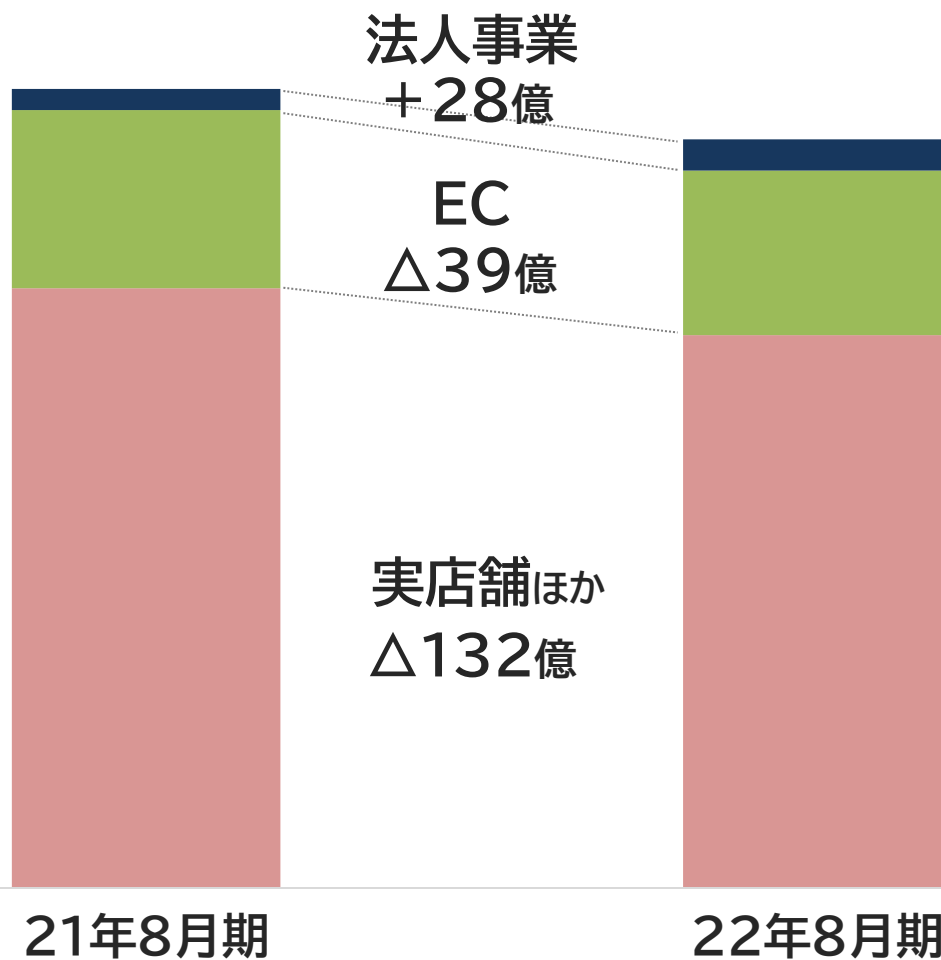
# 単体 決算概要

単位:百万円, %	2021年8月期 上期		2022年8月期 上期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	予想
売上高	226,912	100.0	202,817	100.0	89.4	207,000
売上総利益 (卸売・役務対価除く売上総利益)	59,179	26.1 (27.5)	47,960	23.6 (25.3)	81.0	23.3% (24.9%)
販売費及び一般管理費	58,432	25.8	48,373	23.9	82.8	23.7%
人件費	15,215	6.7	15,544	7.7	102.2	
物流費	6,800	3.0	5,943	2.9	87.4	
地代家賃	10,784	4.8	11,016	5.4	102.2	
減価償却費	3,474	1.5	3,240	1.6	93.3	
その他	22,158	9.8	12,627	6.2	57.0	
営業利益	746	0.3	△413	-	-	△900
営業外収益	2,253	1.0	1,889	0.9	83.8	
営業外費用	129	0.1	136	0.1	105.3	
経常利益	2,871	1.3	1,340	0.7	46.7	600
特別利益	0	0.0	-	-	-	
特別損失	97	0.0	197	0.1	203.6	
税金等調整前四半期純利益	2,774	1.2	1,142	0.6	41.2	
法人税等合計	743	0.3	291	0.1	39.3	
四半期純利益	2,031	0.9	850	0.4	41.9	500
役務提供の対価除く 営業利益	△58	△0.0	△502	△0.2	-	△1,053

注) 2022年8月期 期首より、収益認識会計基準を適用しております。

# 単体 売上高 旧会計基準による比較

2,269 億円  $\Delta 143$ 億  $\rightarrow$  2,126 億円



## 前年同期比実績

単位:%	1Q	2Q	上期
全店	89.2	97.9	93.7
既存店	88.6	97.3	93.1
EC	85.4	99.8	92.7
法人事業	134.2	158.3	147.4

# 単体 粗利・販管費 旧会計基準による比較

## 粗利益率

(卸売・役務提供の対価を除く)

21/8期	22/8期	増減
27.5%	→ 27.7%	+0.2P

## 販管費

21/8期	22/8期	増減
584億円	→ 560億円	△24億円
	固定費	+4億円
	変動費率	△0.8P

## 損益分岐点

21/8期	22/8期	増減
2,225億円	→ 2,050億円	△175億円

# 会社別業績

単位:百万円, %		ソフマップ			日本BS放送(個別)			ラネット		
		21/8期	22/8期	前同比	21/8期	22/8期	前同比	21/8期	22/8期	前同比
金額	売上高	20,272	19,419	95.8	5,459	5,820	106.6	53,859	44,932	83.4
	売上総利益	5,956	5,802	97.4	2,900	3,116	107.5	8,341	8,264	99.1
	販管費	5,668	5,342	94.3	1,649	1,725	104.6	5,682	5,484	96.5
	営業利益	287	459	159.7	1,250	1,391	111.2	2,658	2,779	104.6
	経常利益	300	476	158.3	1,320	1,391	105.4	2,744	2,792	101.8
売上比	売上総利益	29.4	29.9		53.1	53.5		15.5	18.4	
	販管費	28.0	27.5		30.2	29.6		10.6	12.2	
	営業利益	1.4	2.4		22.9	23.9		4.9	6.2	
	経常利益	1.5	2.5		24.2	23.9		5.1	6.2	

注) 2022年8月期 期首より、収益認識会計基準を適用しております。

注) 各社の実績に内部取引は考慮していません。



# 連結 決算概要

単位:百万円, %	2021年8月期 上期		2022年8月期 上期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	期初予想
<b>売上高</b>	<b>421,211</b>	<b>100.0</b>	<b>392,360</b>	<b>100.0</b>	<b>93.2</b>	<b>387,000</b>
売上総利益	118,664	28.2	104,596	26.7	88.1	26.5%
販売費及び一般管理費	108,407	25.7	95,156	24.3	87.8	25.2%
人件費	34,176	8.1	35,545	9.1	104.0	
物流費(運賃)	10,233	2.4	8,967	2.3	87.6	
地代家賃	17,530	4.2	17,968	4.6	102.5	
減価償却費	4,688	1.1	4,550	1.2	97.1	
その他	41,778	9.9	28,124	7.2	67.3	
<b>営業利益</b>	<b>10,256</b>	<b>2.4</b>	<b>9,439</b>	<b>2.4</b>	<b>92.0</b>	<b>5,000</b>
営業外収益	2,198	0.5	1,496	0.4	68.0	
営業外費用	334	0.1	270	0.1	80.9	
<b>経常利益</b>	<b>12,121</b>	<b>2.9</b>	<b>10,665</b>	<b>2.7</b>	<b>88.0</b>	<b>6,000</b>
特別利益	1	0.0	226	0.1	15,598.7	
特別損失	187	0.0	375	0.1	200.0	
税金等調整前四半期純利益	11,934	2.8	10,515	2.7	88.1	
法人税等合計	4,089	1.0	3,620	0.9	88.5	
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,156	0.5	2,125	0.5	98.6	
親会社株主に帰属する <b>四半期純利益</b>	<b>5,689</b>	<b>1.4</b>	<b>4,770</b>	<b>1.2</b>	<b>83.8</b>	<b>3,000</b>

【新規連結】2Q～株式会社じゃんぱら(携帯電話・パソコン等の買取販売)

注)2021年8月期2Q実績は、アロージャパン株式会社における企業結合に係る暫定的な会計処理確定を反映しております。

注)2022年8月期 期首より、収益認識会計基準を適用しております。

# 収益認識会計基準の影響

単位:百万円	連結			単体		
	旧基準	新基準	差額	旧基準	新基準	差額
売上高	407,479	392,360	△15,119	212,651	202,817	△9,834
売上原価	291,099	287,763	△3,335	157,474	154,857	△2,616
売上総利益	116,380	104,596	△11,784	55,177	47,960	△7,217
売上総利益率	28.6%	26.7%		25.9%	23.6%	
販管費	107,528	95,156	△12,371	56,030	48,373	△7,657
営業利益	8,851	9,439	587	△852	△413	439

## 影響の内訳

単位:百万円	連結			単体		
	ポイント 販促費	消化仕入 純額処理	その他	ポイント 販促費	消化仕入 純額処理	その他
売上高	△12,120	△3,140	140	△7,314	△2,616	97
売上原価	—	△3,139	△195	—	△2,616	△0
販管費	△12,608	0	237	△7,716	—	59
営業利益	488	△0	99	401	—	37

# 連結 貸借対照表

単位:百万円	2021年8月末	2022年2月末	前期末比増減	2021年2月末
<b>流動資産</b>	<b>258,077</b>	<b>259,460</b>	<b>1,383</b>	<b>265,433</b>
現金及び預金	108,973	92,304	△ 16,668	102,561
商品及び製品	98,584	104,273	5,689	106,713
<b>有形固定資産</b>	<b>85,774</b>	<b>87,171</b>	<b>1,397</b>	<b>89,072</b>
<b>無形固定資産</b>	<b>31,040</b>	<b>34,305</b>	<b>3,265</b>	<b>31,171</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>79,574</b>	<b>87,266</b>	<b>7,692</b>	<b>80,632</b>
<b>固定資産</b>	<b>196,388</b>	<b>208,743</b>	<b>12,354</b>	<b>200,876</b>
<b>資産合計</b>	<b>454,466</b>	<b>468,204</b>	<b>13,738</b>	<b>466,309</b>
<b>流動負債</b>	<b>173,589</b>	<b>197,901</b>	<b>24,311</b>	<b>178,157</b>
短期有利子負債(含むリース)	82,612	88,935	6,322	83,635
ポイント引当金	13,029	-	-	12,956
<b>固定負債</b>	<b>101,353</b>	<b>99,086</b>	<b>△ 2,266</b>	<b>111,233</b>
長期有利子負債(含むリース)	68,076	56,282	△ 11,793	77,734
<b>負債合計</b>	<b>274,942</b>	<b>296,987</b>	<b>22,044</b>	<b>289,390</b>
<b>純資産合計</b>	<b>179,523</b>	<b>171,216</b>	<b>△ 8,306</b>	<b>176,919</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>454,466</b>	<b>468,204</b>	<b>13,738</b>	<b>466,309</b>

注) 2021年8月期2Q実績は、アロージャパン株式会社における企業結合に係る暫定的な会計処理確定を反映しております。

注) 2022年8月期 期首より、収益認識会計基準を適用しております。

会計基準適用に伴い、期首利益剰余金が 10,366百万円減少しております。

# 連結 キャッシュフロー計算書

単位:百万円	2021年8月期 上期	2022年8月期 上期	
営業活動による CF	△15,108	5,530	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たな卸資産の増加(△3,885) 21/8期 △5,299 → 22/8期 △3,885</li> <li>・仕入債務の増加(6,470) 21/8期 △18,422 → 22/8期 6,470</li> </ul>
投資活動による CF	△7,931	△11,037	<ul style="list-style-type: none"> <li>・固定資産の取得(△6,623)</li> <li>・子会社株式の取得(△4,413)</li> </ul>
財務活動による CF	7,649	△11,131	<ul style="list-style-type: none"> <li>・借入金の純減少(△6,169)</li> <li>・自己株式の取得(△2,154)</li> </ul>
現金等の期末残高	102,446	92,219	

# 連結 品目別売上高 旧会計基準による比較

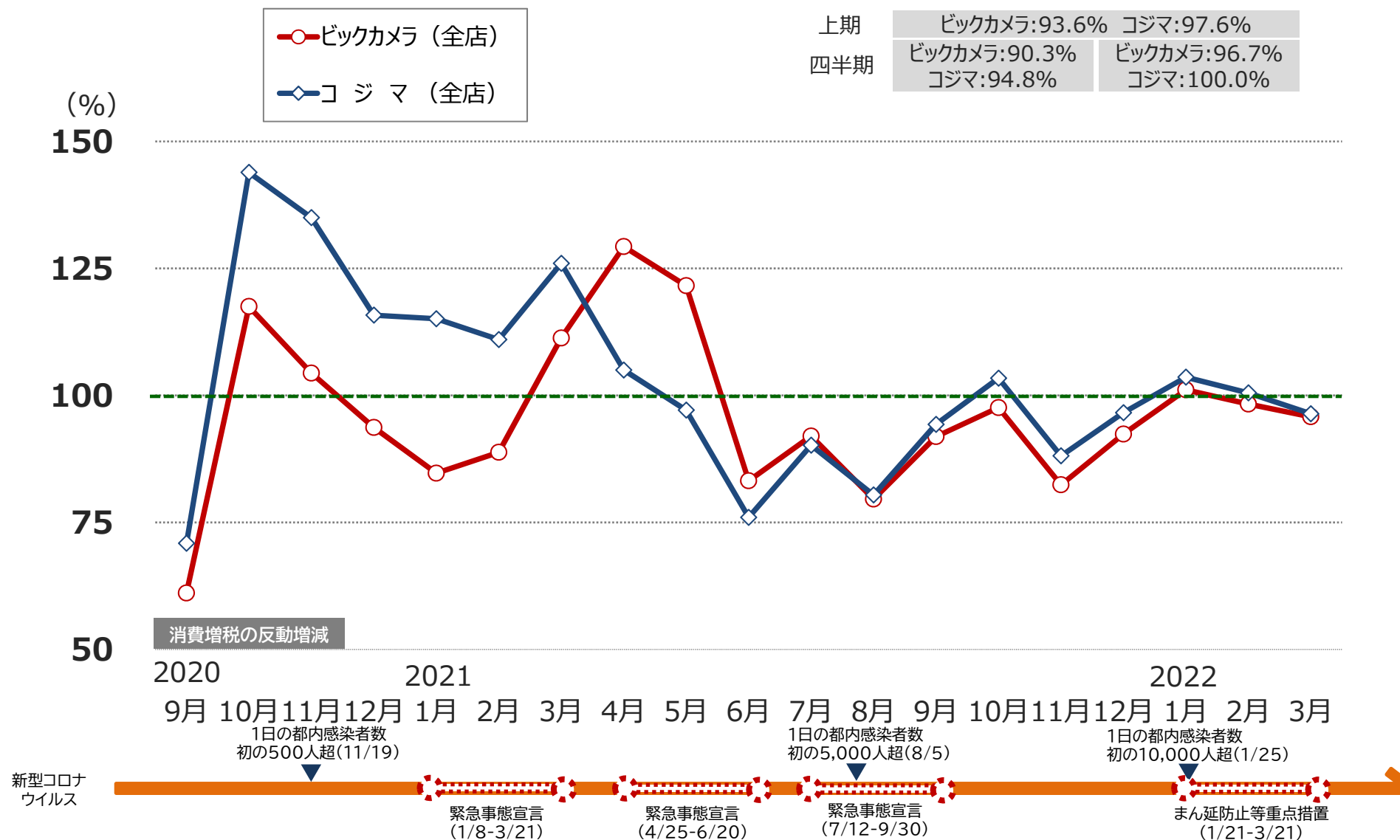
単位:百万円, %	2021年8月期上期		2022年8月期上期						
	金額	構成比	金額	内 ビックカメラ		内 コジマ		構成比	前同比
				金額	前同比	金額	前同比		
<b>音響映像商品</b>	<b>65,985</b>	<b>15.7</b>	<b>63,129</b>	<b>35,483</b>	<b>△6.1</b>	<b>25,348</b>	<b>△2.5</b>	<b>15.5</b>	<b>△4.3</b>
カメラ	11,578	2.8	11,915	8,615	1.0	3,034	6.6	2.9	2.9
テレビ	25,359	6.0	24,409	10,873	△4.3	13,069	△3.6	6.0	△3.7
オーディオ	6,450	1.5	5,425	3,308	△18.2	2,018	△11.8	1.4	△15.9
<b>家庭電化商品</b>	<b>136,207</b>	<b>32.3</b>	<b>130,373</b>	<b>65,047</b>	<b>△2.5</b>	<b>64,204</b>	<b>△6.5</b>	<b>32.0</b>	<b>△4.3</b>
冷蔵庫	19,966	4.7	20,060	9,093	2.7	10,813	△2.0	4.9	0.5
洗濯機	19,944	4.7	20,671	10,154	9.9	10,372	△2.5	5.1	3.6
調理家電	17,884	4.2	17,892	8,265	1.9	9,507	△1.9	4.4	0.0
季節家電(エアコン)	33,123	7.9	26,070	11,469	△20.7	14,393	△21.9	6.4	△21.3
理美容家電	18,497	4.4	20,563	13,239	10.9	7,052	10.8	5.0	11.2
<b>情報通信機器商品</b>	<b>138,280</b>	<b>32.8</b>	<b>133,676</b>	<b>68,394</b>	<b>△8.8</b>	<b>37,994</b>	<b>1.9</b>	<b>32.8</b>	<b>△3.3</b>
パソコン本体	39,817	9.4	33,425	21,660	△18.7	9,910	△14.4	8.2	△16.1
パソコン周辺機器	15,854	3.8	16,213	8,689	△1.5	5,989	6.9	4.0	2.3
携帯電話	54,349	12.9	58,282	22,783	0.8	13,191	23.8	14.3	7.2
<b>その他の商品</b>	<b>74,442</b>	<b>17.7</b>	<b>73,632</b>	<b>43,726</b>	<b>△7.8</b>	<b>14,893</b>	<b>△1.4</b>	<b>18.1</b>	<b>△1.1</b>
ゲーム	25,103	6.0	21,179	13,910	△18.3	5,516	△9.9	5.2	△15.6
時計	5,808	1.4	5,369	5,077	△6.1	261	△27.0	1.3	△7.6
中古パソコン	5,019	1.2	6,281	-	-	-	-	1.5	25.1
スポーツ用品	4,451	1.1	4,740	3,832	3.0	873	24.2	1.2	6.5
玩具	6,185	1.5	7,182	4,753	25.8	1,919	8.6	1.8	16.1
メガネ・コンタクト	2,196	0.5	2,329	2,293	5.6	-	-	0.6	6.1
酒類・飲食物	3,119	0.7	2,989	-	-	-	-	0.7	△4.2
医薬品・日用雑貨	4,444	1.0	4,254	3,512	△3.5	718	△7.0	1.1	△4.3
<b>物品販売事業</b>	<b>414,915</b>	<b>98.5</b>	<b>400,812</b>	<b>212,651</b>	<b>△6.3</b>	<b>142,440</b>	<b>△3.1</b>	<b>98.4</b>	<b>△3.4</b>
BSデジタル放送事業	5,419	1.3	5,805	-	-	-	-	1.4	7.1
その他の事業	876	0.2	862	-	-	747	△13.6	0.2	△1.7
<b>合計</b>	<b>421,211</b>	<b>100.0</b>	<b>407,479</b>	<b>212,651</b>	<b>△6.3</b>	<b>143,187</b>	<b>△3.2</b>	<b>100.0</b>	<b>△3.3</b>

注)2022年8月期 収益認識会計基準を適用前の旧会計基準ベースの金額になります。

注)商品カテゴリー毎の詳細は抜粋したものです。

注)内訳(ビックカメラ、コジマ)の数値は、集計の関係から連結とは表示区分が一部異なります。 \*国内の家電小売業界の販売(GfK Japan調べ)

# 月次売上高の推移(前年同月比POSベース)



**1. 2022年8月期 第2四半期業績**

**2. 2022年8月期 業績予想**

**3. 重要経営課題(マテリアリティ)**

# 単体 業績予想

単位:百万円, %	通期					下期					
	21年8月期	22年8月期	22年8月期			21年8月期	22年8月期	22年8月期			
	実績	期初予想	修正予想	前期比	期初 予想比	実績	期初予想	修正予想	前同比	期初 予想比	
売上高	440,298	436,000	419,000	95.2	96.1	213,385	229,000	216,183	101.3	94.4	
営業利益	503	2,700	900	178.9	33.3	△243	3,600	1,313	-	36.5	
経常利益	3,900	5,100	3,700	94.9	72.5	1,029	4,500	2,360	229.3	52.4	
当期純利益	1,358	3,200	2,850	209.9	89.1	△672	2,700	2,000	-	74.1	
売上比	売上総利益	26.4	23.6	24.0			26.7	23.8	24.4		
	卸売・役務対価除く	27.8	25.3	25.6			28.1	25.6	26.0		
	販管費	26.3	23.0	23.8			26.9	22.3	23.8		
	営業利益	0.1	0.6	0.2			△0.1	1.6	0.6		
	経常利益	0.9	1.2	0.9			0.5	2.0	1.1		
	当期純利益	0.3	0.7	0.7			△0.3	1.2	0.9		
役務提供の対価除く営業利益	△1,264	2,229	500	-	22.4	△1,206	3,282	1,002	-	30.5	



# 連結 通期業績予想(会社別)

単位:百万円, %		ソフマップ				日本BS放送(個別)				ラネット			
		期初予想	修正予想	前期比	期初予想比	期初予想	修正予想	前期比	期初予想比	期初予想	修正予想	前期比	期初予想比
金額	売上高	41,800	39,900	98.3	95.5	11,500	11,500	102.0	100.0	73,200	79,100	75.2	108.1
	営業利益	750	690	141.8	92.0	1,800	1,800	68.4	100.0	4,150	4,680	96.0	112.8
	経常利益	760	700	133.2	92.1	1,802	1,802	66.6	100.0	4,200	4,720	94.7	112.4
売上比	売上総利益	29.2	29.5			50.0	50.0			24.0	20.8		
	販管費	27.4	27.8			34.3	34.3			18.3	14.9		
	営業利益	1.8	1.7			15.7	15.7			5.7	5.9		
	経常利益	1.8	1.8			15.7	15.7			5.7	6.0		

# 連結 業績予想

単位:百万円, %	通期					下期					
	21年8月期	22年8月期	22年8月期			21年8月期	22年8月期	22年8月期			
	実績	期初予想	修正予想	前期比	期初 予想比	実績	期初予想	修正予想	前同比	期初 予想比	
売上高	834,060	806,000	806,000	96.6	-	412,849	419,000	413,640	100.2	98.7	
営業利益	18,217	15,700	17,800	97.7	113.4	7,965	10,700	8,361	105.0	78.1	
経常利益	21,629	17,500	19,800	91.5	113.1	9,512	11,500	9,135	96.0	79.4	
親会社株主に帰属する 当期純利益	8,761	8,800	9,500	108.4	108.0	3,079	5,800	4,730	153.6	81.6	
売上比	売上総利益	28.6	26.6	26.9			29.0	26.8	26.8		
	販管費	26.4	24.7	24.6			27.1	24.2	24.7		
	営業利益	2.2	1.9	2.2			1.9	2.6	2.0		
	経常利益	2.6	2.2	2.5			2.3	2.7	2.2		
	親会社株主に帰属する 当期純利益	1.1	1.1	1.2			0.7	1.4	1.1		

# 収益認識会計基準の影響

単位:百万円		通期			下期		
		従来 (適用前)	新基準 (適用後)	差額	従来 (適用前)	新基準 (適用後)	差額
連結	売上高	840,000	806,000	△34,000	432,521	413,640	△18,881
	売上原価	597,000	590,000	△7,000	305,901	302,236	△3,665
	売上総利益	243,000	216,000	△27,000	126,620	111,404	△15,216
	売上総利益率	28.9%	26.8%		29.3%	26.9%	
	販管費	225,700	198,200	△27,500	118,173	103,044	△15,129
	営業利益	18,300	17,800	500	8,448	8,361	△87
単体	売上高	440,600	419,000	△21,600	227,949	216,183	△11,766
	売上原価	323,300	318,300	△5,000	165,827	163,443	△2,384
	売上総利益	117,300	100,700	△16,600	62,122	52,740	△9,382
	売上総利益率	26.6%	24.0%		27.3%	24.4%	
	卸売・役務対価除く	28.4%	25.6%		29.0%	26.0%	
	販管費	116,800	99,800	△17,000	60,770	51,427	△9,343
	営業利益	500	900	400	1,352	1,313	△39

## 影響の内訳

単位:百万円	連結			単体		
	ポイント 販促費	消化仕入 純額処理	合計	ポイント 販促費	消化仕入 純額処理	合計
売上高	△27,000	△7,000	△34,000	△16,600	△5,000	△21,600
売上原価		△7,000	△7,000		△5,000	△5,000
販管費	△27,500		△27,500	△17,000		△17,000
営業利益	500		500	400		400

# 連結 設備投資・減価償却

	2021年8月期	2022年8月期(計画)
設備投資額	108 億円	160 億円(期初165億円)
主な内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・IT(EC・基幹・効率化)</li> <li>・既存店改装</li> <li>・新規出店(入居保証金含む)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・IT(EC・基幹・効率化)</li> <li>・既存店改装</li> <li>・新規出店(入居保証金含む)</li> </ul>
減価償却費	102 億円	104 億円(期初107億円)

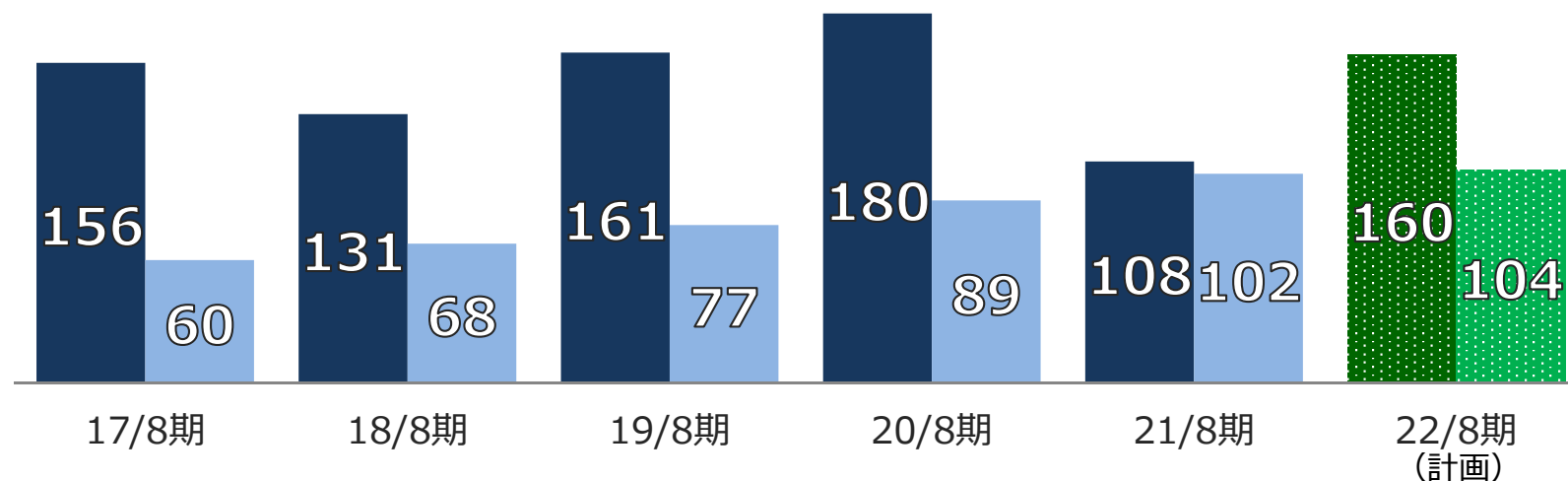
## 設備投資・減価償却費の推移

(億円)

(C/Fベース)

■ 設備投資

■ 減価償却費



# 配当金

		2017年 8月期	2018年 8月期	2019年 8月期	2020年 8月期	2021年 8月期	2022年 8月期 (予想)
1株あたりの 配当額(円)	年間	12	20	20	13	15	15
	中間	5	5	10	10	5	5
	期末	7	15	10	3	10	10
配当金総額(百万円)		2,182	3,609	3,543	2,287	2,639	—
配当性向(%)		16.2	21.4	25.3	42.0	30.1	27.6
純資産配当率(%)		1.9	2.9	2.7	1.7	1.9	—

# 単体・ソフマップ 新規出店・退店

## 高槻阪急への出店



店名 ビックカメラ高槻阪急店  
出店先 高槻阪急 3階  
面積 約 2,000㎡  
開店日 2022年6月予定



店名 ソフマップAKIBA駅前館  
面積 約 1,100㎡  
開店日 2022年4月29日

### 営業終了

2022年1月30日 アニメガ×ソフマップ 池袋サンシャインアルタ店  
2022年2月20日 ソフマップAKIBA買取専門館  
2022年3月31日 ビックカメラ船橋東武店  
2022年3月31日 ビックカメラセレクト京都四条河原町店

**1. 2022年8月期 第2四半期業績**

**2. 2022年8月期 業績予想**

**3. 重要経営課題(マテリアリティ)**

# (1) 循環型社会(サーキュラーエコノミー)への取り組み強化

## ソフマップによる株式会社じゃんぱら 完全子会社化

リユース市場規模拡大を背景としたソフマップ・じゃんぱら連結によるシナジー効果の創出

■店舗数増加による売上規模拡大 ⇒ 合計79店舗

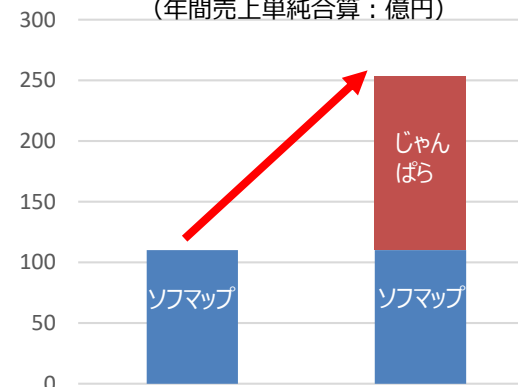
ソフマップ 29店舗  
じゃんぱら 50店舗

■中古在庫共有による販売機会の拡大

■リユース市場シェア拡大・企業価値の向上

■保証・サポートの相互展開(新サービス開発)

中古売上高の飛躍的向上  
(年間売上単純合算：億円)

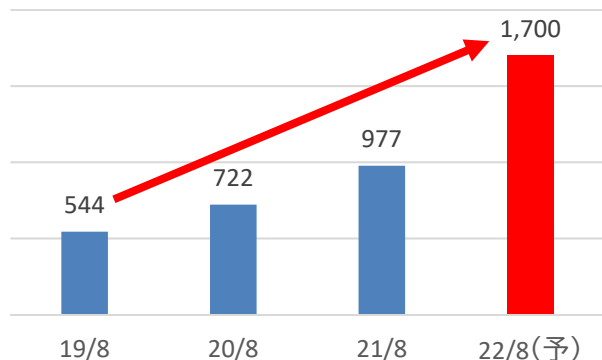


## 買取・リユース販売

買取・リユース販売の強化によるリユースエコノミーサイクルの促進

■買取総合サービス「ラクウル」の徹底活用・機能向上

「ラクウル」買取高 (単位:百万円)



かんたん買取キット拡販



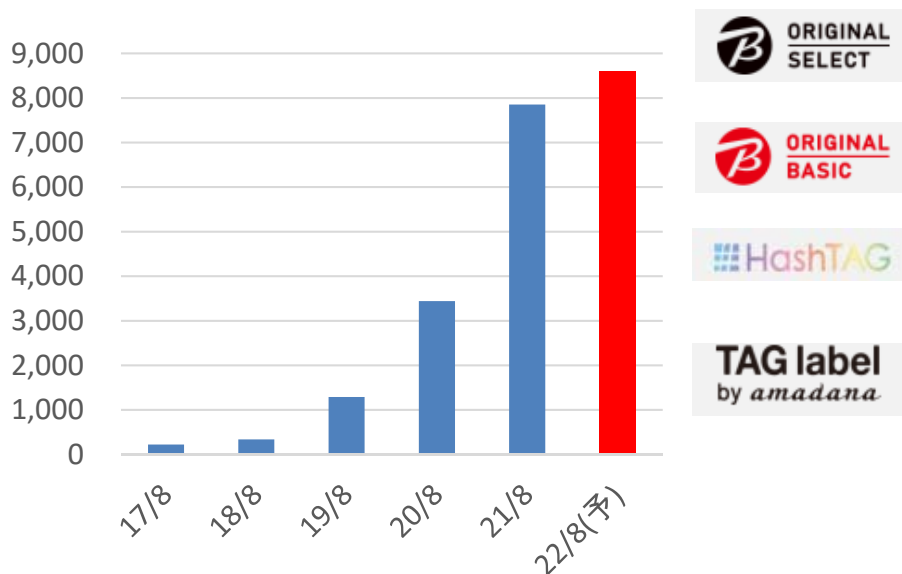
買取来店予約サービス開始



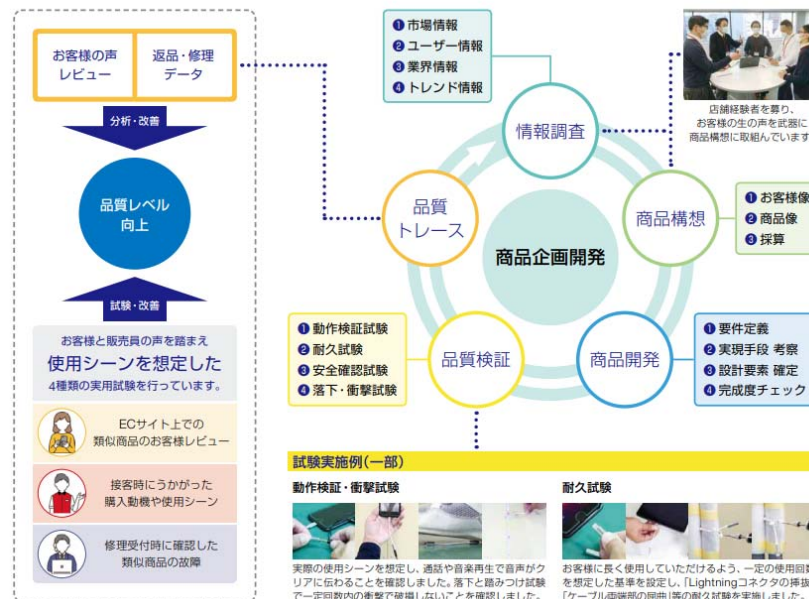
# (2)-1 商品力強化 PB(プライベートブランド)商品ほか

## オリジナルプライベートブランド商品強化

グループ オリジナルPB商品売上高推移 (単位:百万円)



## くらし応援のための商品企画開発



## ビックイノベーションキャピタル

スタートアップ・外部企業が持つ先進的な技術・商品開発力等と自社の顧客基盤・営業力等を融合し、新たな戦略的事業の立ち上げやプライベートブランド商品の開発等を目的に、2021年7月に総額100億円規模のコーポレートベンチャーキャピタルを設立し運用を開始



(2022年1月出資)

- プログラミング学習ロボットを起点に、新たなコト体験作り



(2022年3月出資)

- プライバシーに配慮したAIカメラの提供による商品面での差別化
- 代理店事業を通じた新たなストック収益型ビジネスの構築



## (2)-2 販売力強化① 店舗

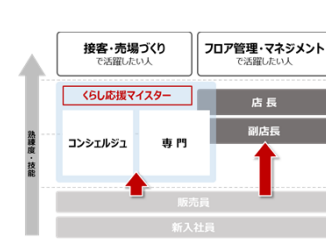
### 購買代理人の創出・育成、接客

## 販売員キャリアパスの導入

従業員のエンゲージメント向上

=「従業員のモチベーション向上×従業員のリスキリング」

- ・ 自分自身のキャリアパスを考え、積極的にチャレンジできる場の提供
- ・ 学びたい時に様々なことを学べる機会の提供



## 「顧客体験価値」の向上

「購買代理人の接客」とは、お客様のくらしを自分事として考え、幅広い選択肢の中から、最適なものを一緒に導き出す専門性

- ・ 商品選び/各種手続き/アフターサービスをそれぞれ専任者がご案内
- ・ 店舗での待ち時間なしでご案内する『接客予約』システム



## (2)-2 販売力強化② EC

### 収益力の強化

単体  
収益力

売上総利益率(22年8月期上期) +0.4P向上

営業利益率(同、本部経費配賦前) 3.1%

### 大型家電売上拡大

単体  
売上伸長

テレビ・冷蔵庫・洗濯機・エアコン:4品目  
(22年8月期上期 前期比) 125%

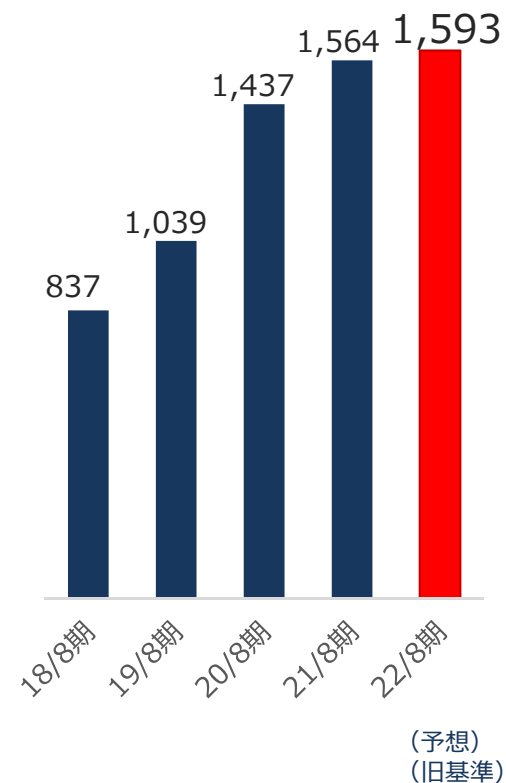
### 原点の使いやすいサイトへ

単体  
UI・UX  
改善

・下取り値引き対応  
・クーポン機能の改善 など

### ビックカメラグループ 通期EC売上高

(単体・コジマ・ソフマップ) (億円)



注)グループEC売上高は、単体ECの集計対象変更に伴い、過去実績を遡及修正しています。

## (2)-2 販売力強化③ 法人事業

### 体制強化に伴う顧客基盤の拡大

担当者数

前期  
1.5倍



新規取引先  
売上

2022年8月期上期  
58%増加

### 法人向けECサイトの利用拡大

取扱品目数

前期25%増



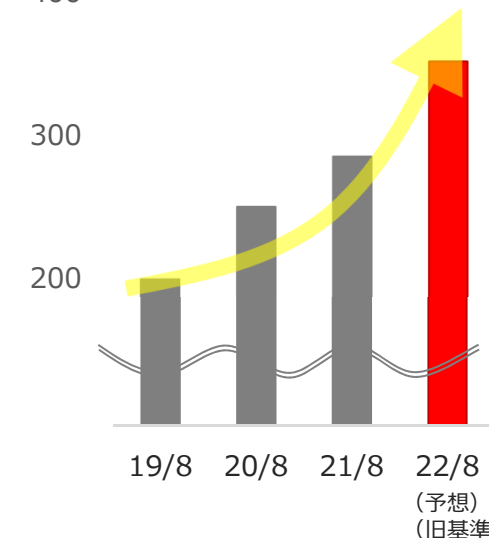
売上

電子見積から電子請求まで利便性向上

2022年8月期上期  
25%増加

グループ全体で  
注力する法人事業  
(単体・コジマ・ソフマップ法人売上高)

(億円)



### 営業活動量拡大に向けたオペレーション整備

既存業務の改善と人的作業のロボット化  
RPA導入拡大

# (3) 従業員エンゲージメントの向上

## 従業員のウェルビーイングの推進

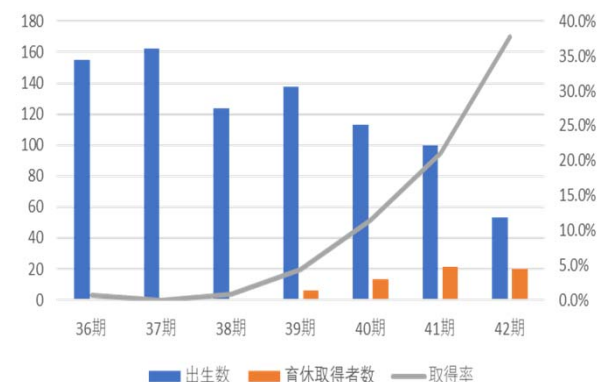
### ① 育児と仕事の両立支援

- ・ 育児休業中メンバーの不安を取り除く「スイッチセミナー」の開催
- ・ 男性育児休業促進の取組み:イクメンセミナー実施や社内報での紹介

### ② いきいきと働く環境作り

- ・ 各分野で活躍する従業員を紹介する「ウェルビーハンドブック」の発行
- ・ 健康経営の推進・新型コロナワクチン第3回職域接種の実施

男性育児休業取得率推移



## 従業員のリスキリング(価値創造力の再構築)

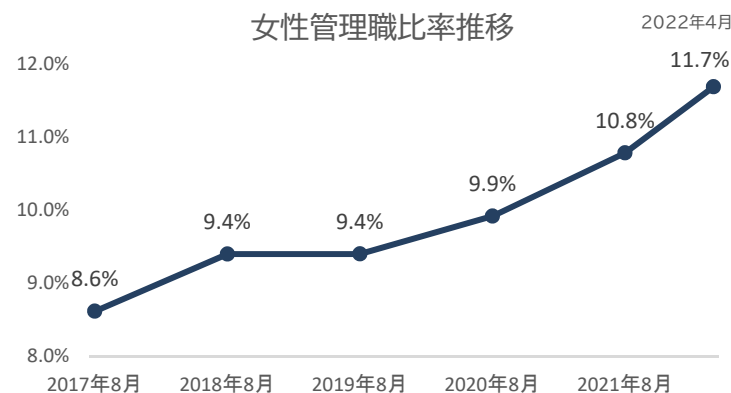
### ① 法人営業向け初任者研修

- ・ 「プッシュ型」営業のスキル取得を目的とした教育研修を実施

### ② 女性管理職研修

- ・ グループ3社合同開催で店舗のリーダー層を対象とする研修実施

女性管理職比率推移



パーパス  
(Why)

お客様の購買代理人として  
暮らしにお役に立つ暮らし応援企業であること

企業理念  
(Where)

専門性と先進性で、より豊かな生活を提案する  
進化し続ける“こだわり”の専門店の集合体

企業ミッション  
(What)

お客様から信頼され必要とされる会社で  
あり続けることで持続的に成長する

企業  
コミットメント  
(What)

- ① 従業員の物心両面の満足度向上
- ② お客様のお買物満足度の向上
- ③ 地域社会・ステークホルダーへの貢献
- ④ 株主様への還元

行動理念  
(How)

「凡事徹底」+「進取果敢」





本資料は、当社の事業及び業界動向について当社による現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明は、様々なリスクや不確かさが伴っています。既に知られた、もしくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。当社は、将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なることもありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、2022年4月18日現在において利用可能な情報に基づいて、当社により2022年4月18日現在においてなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

2022年4月  
株式会社ビックカメラ  
株式会社コジマ